

解答と解説

〈1〉

【問1】 1 オ 2 イ 3 ウ

【問2】 B (子どもの権利条約が採択されたのは1989年です)

【問3】 ④ (「利益」ではなく、「人権」です)

【問4】 (1) ア (2) ウ (3) エ (4) イ (5) オ

【問5】 (解答例)「子どもの権利条約」は「子どもの憲法」とも言われ、「子どもの最善の利益」を優先的に考慮するという考え方を引き継いでいます。現在署名をしていない国はアメリカのみです。

〈2〉

【問】 (1) ア (2) イ (3) エ (4) ウ

〈3〉

【問1】 (1) ア (2) イ (3) ウ (4) エ (5) オ (6) カ

【問2】 ② (「校則違反」ではなく、「懲罰」です)

【問3】 (1) ○ (2) 高い→低い (3) ○ (4) 減少→増加 (5) ○
(6) ○ (7) ○ (8) ○ (9) 施設養護→家庭養護

【問4】 (解答例)「絶対的貧困」は人間が生活する上で最低限必要なものを持ち合わせておらず、生きるか、死ぬかの瀬戸際にある貧困状態を指します。一方で「相対的貧困」は、その人が住んでいる国の平均の所得よりも自らの所得が低く、安定した生活を送ることが難しいという貧困状態。「子どもの権利」においての貧困を語る際は、後者が当てはまります。

〈配点〉

基本 1問につき3点 ($3 \times 30 = 90$)

記述問題 (〈1〉【問5】と〈3〉【問4】) は1問につき5点 ($5 \times 2 = 10$) 合計 100点満点

※記述問題に関しては、(解答例)と同じようなニュアンスのことが書けていれば5点

(解答例)とは近いものの、少し物足りない場合は3点

全く見当外れなことを書いている場合は0点